

ワイヤレスチャイム センサー・受信器 セット

お客様へのお願い この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

ご注意
●本品は報知・連絡用商品であり、犯罪防止や生命にかかわる緊急呼び出し等の用途にはご使用いただけません。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。正しく安全にお使いください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

- 警告** この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。
- 注意** この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

本品について

- 分解・改造はしないでください。【火災・感電の原因】
- 本品からの電波が影響を及ぼす可能性があるため、次のような場所や条件で使用しないでください。
 - ・病院内で使用が禁止された場所や医療機器の近く(手術室、集中治療室、CCUなど)
 - ※CCU・冠動脈疾患監視病室
 - ・自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
 - ・心臓ペースメーカー装着部位から22cm以内の位置

- 高温になる場所や湿気、湯気、ほこりの多い場所、油や薬品がかかる恐れのある場所で使用しないでください。
- 落下しても事故の起こらない場所に設置してください。
- 完全防水ではありませんので、水に浸したり、大量の水(ゲリラ豪雨や台風の雨など)がかかる状態では使用しないでください。

電池について

- 電池が液漏れしたときは素手で液にさわらないでください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
- 電池の液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。
- 火中に入れられない。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 指定された種類以外の電池は使用しないでください。
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 電池を金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。
- 使用済みの電池は必ず本体から取り出してください。
- 長期間ご使用にならない時は、電池を取り外して保管してください。
- 新・旧および異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液漏れした電池は使用しないでください。
- 外装フィルムのはがれた電池は使用しないでください。

- 火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。
- 電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- 電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。
- 使用済みの乾電池は環境保全のため、不燃物としてお住まいの地域の所定の方法で処分するか、乾電池の回収を行っている販売店にお持ちください。

電池の入れ方

●電池交換の際も同様の手順でおこないます。

センサー送信器(EWS-P33) 使用電池:単四形乾電池×3本

①ベースの左右にあるツメのいずれか片側にマイナスドライバーを差し込み、送信器本体をベースから取りはずします。

②単四形乾電池3本を本体の⊕⊖表示に従い正しくセットします。

③送信器本体をベースに取り付けます。

マーク同士を合わせます。(反対側にはマークがありません。)

※電池を入れた際、約15秒間送信ランプが点灯します。これはセンサーが安定するまでの初期動作で故障ではありません。

受信器(EWS-P50/P51) 使用電池:単三形乾電池×3本

①受信器背面にある電池カバーを取りはずします。

②単三形乾電池3本を電池の極性を確認してセットし、電池カバーを元通りに閉じます。

※初めて電池を入れたときは「ピッピッピ」という確認音が鳴ります。

乾電池交換の際は、全て新しい乾電池に交換してください。

ACアダプター(別売)について
DC4.5V 安定化回路内蔵のACアダプターをご使用ください。
・適合プラグ 外径 φ5.5mm、内径 φ2.1mm
・極性 センタープラス ⊖ ⊕
(注意)ACアダプター使用時は、必ず乾電池を取りはずしてください。

使用上のご注意

- 2台以上の送信器が同時に動作した場合、受信器が動作しない場合があります。
- 報知音が鳴っている間は電波を受信できません。
- 受信器と送信器が近接している場合(約1m以内)、受信器が動作しない場合があります。
- 電波の到達距離内であっても、壁や天井等に反射した電波と、まっすぐに飛んだ電波が交差して電波の弱まる場所があります。この場合、受信器の設置場所を変更する事で解消されます。
- 設置場所ではあらかじめ動作確認をおこなってください。また設置後に電波環境が変わる事がありますので定期的に動作確認をおこなってください。
- 携帯電話やPHS、その他電波(ノイズ)を発する家電製品やOA機器の近くで使用すると、動作しなかったり誤動作する場合があります。
- 本品は障害物がない場合は見通し距離約120m以内で使用できますが、次のような場合は電波が届きにくくなり、使用できない場合があります。
 - ・機器の間に壁が何枚もある場合
 - ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
 - ・別の階や別の建物の間で使用する場合
 - ・次の障害物がある場合
 - ・コンクリートの壁
 - ・金属製の扉や雨戸
 - ・トタンなどの金属製の外壁材
 - ・金属箔が含まれる断熱材
 - ・金属製の家具など
- 送信器は総務省の技術基準に適合しております。証明マーク(㊞)が貼られている商品は、総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。改造した場合は法律により罰せられることがあります。また証明シールをはがしての使用や、表示内容を改ざんすることは法律で禁止されています。

各部の名称と付属品

受信器

- スピーカー
- 音量ボタン
報知音量を5段階に切り替えます。
※設定モード時、報知音(20種類)を選択するときに使用します。
- 設定ボタン
送信器を登録するときなどに使用します。
- 電源スイッチ
- ACアダプター接続端子
別売ACアダプターのDCプラグを差し込みます。
- 電池交換お知らせランプ(受信器)
受信器の電池切れが近づくとランプ(赤色)が点灯します。

センサー送信器

- 送信ランプ(電池交換お知らせランプ)
- 人感センサー
- 可動フリップ
壁面や天井に取り付けます。検知エリアの角度を調整するため、0°~90°の範囲で可動します。
- ネジガイド
付属の取付ネジを通すための穴です。

付属品

- 取付ネジ 4本 (φ3×20mm)

送信器の登録方法

- 受信器に送信器を登録しないと使用できません。
- 登録は受信器の近くでおこなってください。
- 受信器1台に対して送信器は8台まで登録できます。
- 送信器1台に対して受信器は何台でも増設することができます。
- 送信器には個々に異なるIDコード(識別符号)が与えられているため、ご近所で同じ製品を使用されても混信する事はありません。
- 受信器の電池交換やACアダプターの抜き差しで登録した内容は消えません。
- ※登録した内容を消す場合は「登録の消去」を参照してください。

登録方法

①受信器の電源スイッチが「入」の位置になっている事を確認します。
※使用開始時(送信器が1台も登録されていない状態)は、電源が入ると自動的に【設定モード】になります。

②センサー送信器を反応させます。
→人感センサーを自分の方に向けてと反応します。

③受信器から報知音が鳴ります。→報知音が鳴らない場合は、受信器から送信器を1m以上離し、報知音が鳴るまでセンサー送信器を反応させてください。

④受信器の音量ボタンを押します。→音量ボタンを押すごとに音色が順に切り替わりますので、お好みの音色を選択してください。最後に鳴らした音色が報知音として設定されます。

20種類の報知音(音色)	○ピンポン(高音) ○ピンポン(高音)2回 ○ピンポン(高音)3回 ○ピンポン(低音) ○ピンポン(低音)2回 ○コンビニ入店音 ○ワンワン(犬) ○コケッコウ(ニワトリ) ○タラララ ○ビビビ ○ビビビビッ ○ピンポンパンポン ○ウーウー ○プープー ○いらっしゃいませ ○ありがとうございました ○センサーが反応しました ○ピアノ演奏 ○オルゴール音 ○カノン
--------------	---

- ⑤受信器の設定ボタンを約3秒間押し続けます。
→「ビッ」という音が鳴り【設定モード】が終了します(登録完了)。
※④の報知音選択から約2分間経過した場合も自動的に【設定モード】が終了します。

送信器を追加登録する場合

- 受信器1台に対して送信器は8台まで登録できます。
- ①受信器の設定ボタンを約3秒間押し続けます。
→「ビッ」という音が鳴り【設定モード】になります。
- ②【登録方法】の②以降を操作してください。
- 【ご注意】
正しく登録できなかった場合は、「登録の消去」をしてから再度それぞれ登録してください。

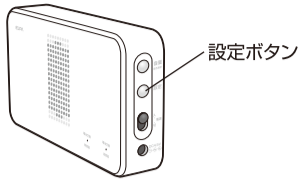
登録の消去

- 複数の送信器が登録されている場合、1台ずつ個別に登録を消去することはできません。全ての登録が消去されます。
- ①受信器の音量ボタンと設定ボタンを同時に約3秒間押し続けます。
→「ビッ」という音が鳴り、登録された内容が消去されます。消去された後は、自動的に【設定モード】になります。
- ②【登録方法】の②以降を操作し、あらためて送信器を登録してください。

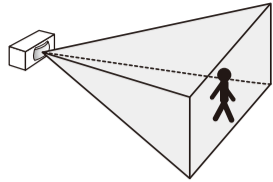
報知音(音色)の変更方法

- 送信器を登録した後で報知音(音色)を変更したい場合は、下記手順に従い操作してください。
- 報知音は送信器ごとに異なる音を設定できます。

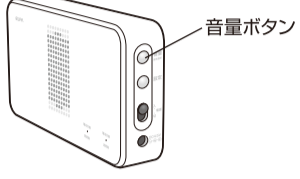
- ①受信器の設定ボタンを約3秒間押し続けます。
→「ピッピッピ」と音が鳴り【設定モード】になります。



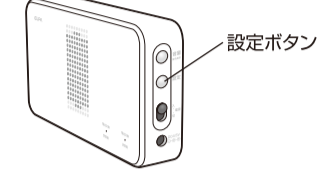
- ②報知音を変更したい送信器を動作させます。
(例:センサー送信器の場合はセンサーを反応させます。)
→受信器から現在設定されている報知音が鳴ります。



- ③受信器の音量ボタンを押します。
→音量ボタンを押すごとに音色が順に切り替わりますので、お好みの音色を選択してください。
最後に鳴らした音色が報知音として設定されます。



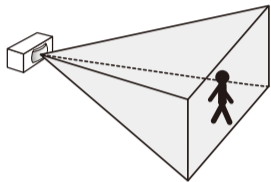
- ④受信器の設定ボタンを約3秒間押し続けます。
→「ピッ」という音が鳴り【設定モード】が終了します(報知音の変更完了)。
※③の報知音選択から約2分間経過した場合も自動的に【設定モード】が終了します。



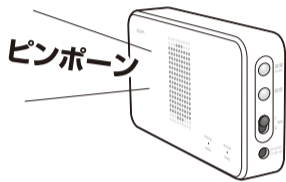
ご使用方法

- 週に一度動作確認をおこなってください。

- ①センサーが反応すると電波が送信されます。

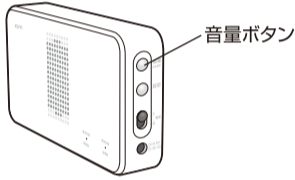


- ②受信器から設定した報知音が鳴ります。



■音量の変更方法

- 音量ボタンを押すごとに報知音量が切り替わります。
- 音量は5段階から選択できます。
- 最後に鳴らした音量で設定されます。
- 登録されている送信器の個別の音量設定はできません。

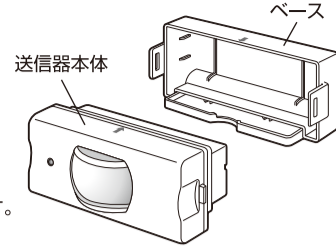
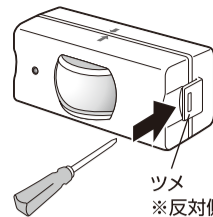


- ※送信器を複数で使用の際、報知音をそれぞれ別の音色に設定している場合は、どこから送信されたかが報知音で判別できます。

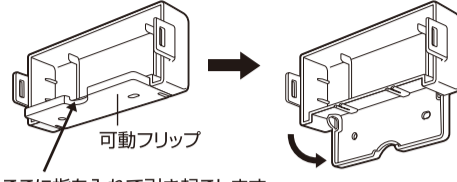
送信器・受信器の取付方法

- 取り付け作業をおこなう前に、あらかじめ送信器・受信器を設置場所に仮設置し動作確認をおこなってください。

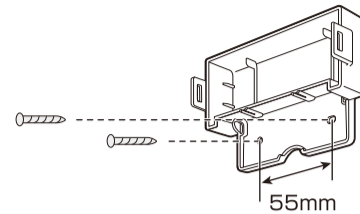
- ①ベースの左右にあるツメのいずれか片側にマイナスドライバーを差し込み、送信器本体をベースから取りはずします。



- ②ベースの可動フリップを最大角度90°まで開きます。

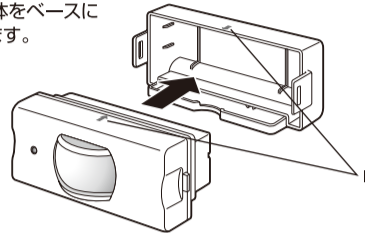


- ③ベースを壁面や天井に取り付けます。付属の取付ネジをネジガイド(2ヶ所)に通して固定します。



- ここに指を入れて引き起こします。

- ④送信器本体をベースに取り付けます。



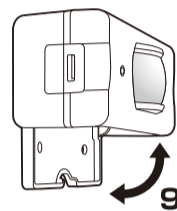
- マーク同士を合わせます。(反対側にはマークがありません。)

- ⑤センサーの角度を調節してください。

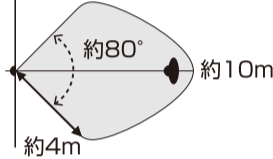
■検知エリア(目安)

【平面図】 検知エリアを上から見た図

【側面図】 検知エリアを横から見た図



可動フリップは0°~90°の範囲で可動します。

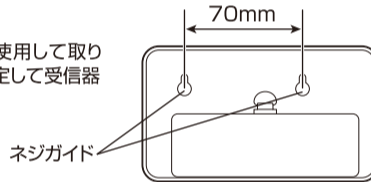


【センサーについてのご注意】

- 検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。
- 人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知エリア外でも検知することがあります。
- 人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
- センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。

■受信器の取付方法

受信器を壁面などに取付ネジを使用して取り付ける場合は、取付ネジを壁に固定して受信器背面のネジガイドに入れます。

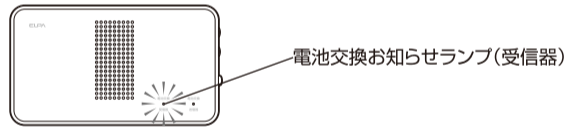


電池交換表示について

- 受信器の電池交換お知らせランプにより、受信器および送信器の電池切れが近い事をお知らせします。
- 電池交換表示が出た場合は、お早めに指定の新しい電池と交換してください。

■受信器の電池切れが近い場合

- 電池交換お知らせランプ(受信器)が点灯します。
- 新しい電池と交換するとランプが消えます。

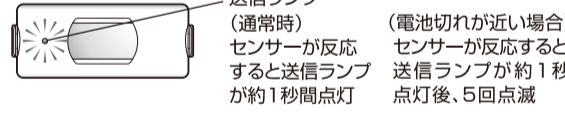
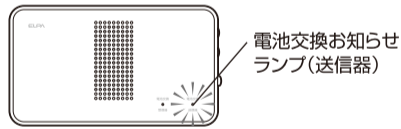


■送信器の電池切れが近い場合

- 電池切れが近い送信器からの信号を受信すると、電池交換お知らせランプ(送信器)が約2分間点灯します。

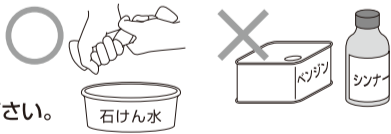
- 複数の送信器を使用している場合、送信器の送信ランプを確認する事で電池交換が必要な送信器がわかります。

【センサー送信器 EWS-P33の場合】



お手入れについて

- 安全にご使用していただくため、定期的に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。丸洗いはしないでください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたりしないでください。変質、変色、破損の原因となります。



故障かな?と思ったら

■受信器から音が鳴らない、音が鳴らなくなった

- 電池は消耗していませんか?
→新しい乾電池に全て交換してください。
- 受信器及び送信器の電池の⊕⊖は正しくセットされていますか?
→⊕⊖に注意して正しい向きにセットしてください。
- ACアダプターの電圧・電流値は合っていますか?
→指定の電圧・電流値のACアダプターをお使いください。
- 送信器は登録されていますか?
→受信器に送信器を登録してください。
- 距離が離れていませんか?
→受信器もしくは送信器の距離を縮めてください。
- センサーは反応していますか?
→センサーが反応しやすいような位置・角度に設置してください。

増設して使用可能な送信器・受信器

- 別売の受信器・送信器を増設して使用可能です。
- 1台の受信器に対して8台までの送信器を登録して使用できます。(※EWS-P52のみ4台まで)
- 送信器1台に対して受信器は何台でも増設することができます。
- 当社型番「EWS」で始まる「ELPA ワイヤレスチャイムシリーズ」のみ互換性があります。
- ご使用の際には各商品の取扱説明書をご参照ください。

仕様

電源	受信器	単三形乾電池×3本(別売) またはDC4.5V ⊖⊕ センタープラス 適合プラグ:外径φ5.5mm 内径φ2.1mm (別売ACアダプター使用時)	
	センサー送信器	単四形乾電池×3本(別売)	
電池寿命	受信器	約1年(1日に10回、音量4、ピンポン高音で使用)※アルカリ乾電池使用時	
	センサー送信器	約2年(1日に10回使用)※アルカリ乾電池使用時 ※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。	
音量	約88dB/50cm	電波到達距離	見通し 約120m
周波数	313.625MHz(特定小電力機器)		
IDコード	約25万通り	使用温度範囲	0℃~40℃
外形寸法(約)	受信器	幅142×高さ80×奥行29(mm)(最大値)	質量
	センサー送信器	幅110×高さ45×奥行48(mm)(最大値)	
防水仕様	IPX4 防沫形(センサー送信器)		
付属品	取付ネジ 4本(φ3×20mm)		

- ※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- ※製造には万全を期しておりますが、万が一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。